

4. 過年度調査結果のまとめ

4-1 アセタミプリド

	基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水域	2.5	1.1 (水田 <i>Tier1</i>)
水濁	180	0.18 (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-1-1 農薬の過年度における検出状況（アセタミプリド、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		—	—	0	
	① 石川橋	<0.02				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.09				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.02				

下線：環境基準点

表 4-1-2 農薬の過年度における検出状況（アセタミプリド、平成31年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		0	0	—	
	① 石川橋	0.05				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	<0.02				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.03				

下線：環境基準点

4-2 イミダクロプリド

	基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水域	1.9	1.0 (水田 <i>Tier2</i>)
水濁	150	15 (水田 <i>Tier1</i>) (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-2-1 農薬の過年度における検出状況（イミダクトプリド、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	石川		1.2	0.47	8.9	
	① 石川橋	0.03				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.06				
	佐備川					
兵庫県立農林水産技術総合センター 公益財団法人ひょうご環境創造協会	円山川		2.4	0.1	0	
	① 赤崎橋	<0.01				
	③ 立野大橋	<0.01				
	出石川					
奈良県農業研究開発センター	② 天神橋	0.01				
	寺川		水稻 27.6 野菜果樹 6.0	水稻 4.1 野菜果樹 3.7	8.1	
	① 興仁橋	0.02				
	曾我川				6.4	
	② 曾我川橋	0.02				
	飛鳥川				1.1	
	③ 四分橋	0.02				

下線：環境基準点または補助点

表 4-2-2 農薬の過年度における検出状況（イミダクロプリド、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		一の橋	一の橋	1.5	
	① 榛杓橋	0.230	水田	水田		
	小山川		30.5	35.6		
	② 前の橋	0.764	畑地	畑地		
	③ 一の橋	0.280	101.1	36.6		
	⑥ 新明橋	0.057	新明橋	新明橋		
	針ヶ谷排水路		水田	水田		
	④ 赤城見橋	0.046	172.9	35.6		
	唐沢川		畑地	畑地		
⑤ 6号橋	0.044	524.4	36.6			
兵庫県立農林水 産技術総合セン ター	円山川		4.3	0.1	0	
	① 赤崎橋	<0.01				
	② 立野大橋	<0.01				
	出石川					
	③ 伊豆橋	<0.01				
公益財団法人 ひょうご環境創 造協会						
奈良県農業研究 開発センター	寺川		水田 49.1 畑地 3.0	水田 7.3 畑地 1.8	0.4	
	① 興仁橋	0.03			0.8	
	曾我川					
	② 曾我川橋	0.03			0.1	
	飛鳥川					
	③ 四分橋	0.02				

下線：環境基準点または補助点

表 4-2-3 農薬の過年度における検出状況（イミダクロプリド、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川				—	
	① 榛杓橋	0.197	—	—	—	
	小山川				—	
	② 泉沢橋	0.208	—	—	—	
	③ 一の橋	0.290	123.1	66.4	13.8	
	⑥ 新明橋	0.070	716.9	66.4	1.4	
	針ヶ谷排水路				—	
	④ 赤城見橋	0.046	—	—	—	
	唐沢川				—	
兵庫県立農林水 産技術総合セン ター 公益財団法人 ひょうご環境創 造協会	佐用川		268.3	25.4	9.3	
	① 虚田橋	0.070				
	千種川					
	② 小赤松橋	0.044				
	④ 隈見橋	0.052				
	鞍井川					
奈良県農業研究 開発センター	③ 建武橋	0.033				
	寺川		水稻 146 野菜果樹 0.84	水稻 16.2 野菜果樹 0.5	4.4	
	① 興仁橋	0.05			1.9	
	曾我川				0.5	
	② 曾我川橋	0.04				
	飛鳥川					
	③ 四分橋	0.04				

※環境基準点または補助点

表 4-2-4 農薬の過年度における検出状況（イミダクロプリド、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		180.6	2.9	0	
	① 三谷橋	<0.10				
	② 小貝川大橋	<0.10				
	④ 長橋	0.11				
	大羽川					
	③ 手越橋	<0.10				
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		274.2	50.9	3.8	
	① 高坂橋	0.023				
	② 天神橋	0.024				
	⑤ 落合橋	0.033				
	飯盛川					
	③ 萩野2号橋	0.095				
	大谷川					
	④ 琵琶野橋	0.150				
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	千種川		313	28.4	14.5	
	② 小赤松橋	0.093				
	④ 隈見橋	0.075				
	佐用川					
	① 虚田橋	0.14				
	鞍井川					
	③ 建武橋	0.039				

下線：環境基準点

表 4-2-5 農薬の過年度における検出状況（イミダクロプリド、平成 31 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		箱剤 235.5	箱剤 43.6	1.4	
	① 高坂橋	0.021				
	④ 落合橋	0.049				
	飯盛川		地上防除 1.7	地上防除 0.3		
	② 荻野2号橋	0.108				
	大谷川					
	③ 琵琶野橋	0.130				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		55.4	2.7	16	
	① 石川橋	0.28				
	④ 高橋	0.15				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.30				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.72				

下線：環境基準点

表 4-2-6 農薬の過年度における検出状況（イミダクロプリド、平成 30 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		箱剤 651	箱剤 62.6	1.0	
	① 高坂橋	0.030				
	④ 落合橋	0.062				
	飯盛川		地上防除 47.4	地上防除 4.5		
	② 荻野2号橋	0.072				
	大谷川					
	③ 琵琶野橋	0.133				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		57.8	2.8	18	
	① 石川橋	0.35				
	④ 高橋	0.10				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.28				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.34				

下線：環境基準点

表 4-2-7 農薬の過年度における検出状況（イミダクロプリド、平成 27 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	鵲川		41.4	4.7	— ⁽¹⁾	
	① 鵲川大橋	<0.050				
	② 新春日大橋	<0.050				
	厚真川		78.8	5.2	— ⁽¹⁾	
	③ ならやま橋	<0.050				
	④ 厚真新橋	0.071				
	⑤ 浜厚真橋	0.094				
	ウクル川					
	⑥ 森田橋	0.222				
	軽舞川					
	⑦ 若草橋	0.085				

下線：環境基準点または補助点

(1)：農薬流出率は継続的に検出されなかったため算出は行わなかった

4-3 クミルロン

	基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水域	90	1.9 (水田 <i>Tier2</i>)
水濁	20	7.3 (水田 <i>Tier2</i>) (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-3-1 農薬の過年度における検出状況（クミルロン、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		6940	11	13	
	① 納内橋	0.620				
	② 砂川大橋	0.969				
	③ 石狩大橋	1.58				

下線：環境基準点

表 4-3-2 農薬の過年度における検出状況（クミルロン、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		6660	10	17	
	① 納内橋	0.783				
	② 砂川大橋	1.12				
	③ 石狩大橋	2.15				

下線：環境基準点

表 4-3-3 農薬の過年度における検出状況（クミルロン、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合 研究機構	石狩川		499	7.82	37	
	① 納内橋	0.561				
	② 砂川大橋	0.940				
	③ 石狩大橋	1.71				

下線：環境基準点

表 4-3-4 農薬の過年度における検出状況（クミルロン、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		4500	6.4	31	
	① 納内橋	1.33				
	② 砂川大橋	1.30				
	③ 石狩大橋	2.78 ^{※2}				

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水域 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-3-5 農薬の過年度における検出状況（クミルロン、平成27年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	鵠川		12.5 ⁽¹⁾	1.4 ⁽¹⁾	114 ⁽¹⁾	(1)： 平成25 年度の 販売実 績を用 いて算 出
	① 鵠川大橋	0.350				
	② 新春日大橋	0.117				
	厚真川		107	7.1	1.3	
	③ ならやま橋	0.00055				
	④ 厚真新橋	2.94 ^{※2}				
	⑤ 浜厚真橋	0.719				
	ウクル川					
	⑥ 森田橋	2.01				
	軽舞川					
	⑦ 若草橋	0.645				

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水域 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-3-6 農薬の過年度における検出状況（クミルロン、平成 25、26 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H26	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	鵠川	0.726	76	河川中農薬 モニタリング 調査
		<u>鵠川橋</u>	0.726		
		厚真川	4.62	11	
		<u>厚真新橋</u>	4.62 ^{※2}		
		軽舞川	2.33（支流）		
		若草橋（支流）	2.33		
H25	北海道立総合研究機構 環境科学研究センター	鵠川	0.255	160	河川中農薬 モニタリング 調査
		<u>鵠川橋</u>	0.255		
		厚真川	3.29（主観測地点）	－	
		厚真大橋	0.021		

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水域 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

4-4 クロチアニジン

	基準値 (μg/L)	PEC (μg/L)
水域	2.8	0.79 (水田 <i>Tier2</i>)
水濁	250	12 (水田 <i>Tier1</i>) (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-4-1 農薬の過年度における検出状況（クロチアニジン、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人大 阪府立環境農林水産 総合研究所	石川		51.6	20.3	0.4	
	① 石川橋	0.03				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.07				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.03				
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	円山川		1.3	0.04	-	
	① 赤崎橋	0.02				
	③ 立野大橋	0.04				
	出石川					
	② 天神橋	0.02				
奈良県農業研究開発 センター	寺川		水稻 24.0 野菜果樹 6.8	水稻 3.6 野菜果樹 4.2	1.9	
	① 興仁橋	0.02				
	曾我川					
	② 曾我川橋	0.02			1.9	
	飛鳥川					
	③ 四分橋	0.01			0.2	

下線：環境基準点または補助点

表 4-4-2 農薬の過年度における検出状況（クロチアニジン、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考	
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)			
栃木県農業試験場	小貝川		1287	63.8	4.3		
	① 三谷橋	1.00※2					
	② 小貝川大橋	0.07					
	④ 長橋	0.52					
	大羽川						
	③ 手越橋	1.24					
埼玉県農業技術研究 センター	志戸川		一の橋	一の橋	5.3		
	① 榛沓橋	0.193	水田	水田			
	小山川		25.0	29.2			
	② 前の橋	0.042	畑地	畑地			
	③ 一の橋	0.160	22.9	8.3			
	⑥ 新明橋	0.056	新明橋	新明橋			
	針ヶ谷排水路		水田	水田			
	④ 赤城見橋	0.059	141.7	29.2			
	唐沢川		畑地	畑地			
	⑤ 6号橋	0.088	118.9	8.3			
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	円山川		32.1	1.0	22.8		
	① 赤崎橋	0.09					
	② 立野大橋	0.01					
	出石川						
	③ 伊豆橋	0.04					
奈良県農業研究開発 センター	寺川		水田 30.0 畑地 8.3	水田 4.4 畑地 5.1	0.1		
	① 興仁橋	0.01			0.1		
	曾我川						
	② 曾我川橋	0.02			<0.05		
	飛鳥川						
	③ 四分橋	0.01					

下線：環境基準点

表 4-4-3 農薬の過年度における検出状況（クロチアニジン、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考	
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)			
栃木県農業試験場	小貝川		1158.7	66.2	2.1		
	① 三谷橋	0.70					
	② 小貝川大橋	0.08					
	④ 長橋	0.28					
	大羽川						
	③ 手越橋	0.43					
埼玉県農業技術研究 センター	志戸川				-		
	① 榛沓橋	0.110	-	-	-		
	小山川				-		
	② 泉沢橋	0.023	-	-	-		
	③ 一の橋	0.074	61.6	56.7	21.4		
	⑥ 新明橋	0.025	374	56.7	2.9		
	針ヶ谷排水路				-		
	④ 赤城見橋	0.029	-	-	-		
	唐沢川				-		
	⑤ 6号橋	0.026	-	-	-		
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	佐用川		186.5	17.6	16.7		
	① 虚田橋	0.058					
	千種川						
	② 小赤松橋	0.036					
	④ 隈見橋	0.029					
	鞍井川						
	③ 建武橋	0.116					
奈良県農業研究開発 センター	寺川		水稻 50.2 野菜果樹 18.5	水稻 5.6 野菜果樹 11.3	2.4		
	① 興仁橋	0.03			1.5		
	曾我川						
	② 曾我川橋	0.02			0.2		
	飛鳥川						
	③ 四分橋	0.03					

下線：環境基準点または補助点

表 4-4-4 農薬の過年度における検出状況（クロチアニジン、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		607.7	9.8	37.2	
	① 三谷橋	1.15 ^{※2}				
	② 小貝川大橋	0.27				
	④ 長橋	0.67				
	大羽川					
	③ 手越橋	<0.04				
埼玉県農業技術 研究センター	越部川		140	25.9	23.6	
	① 高坂橋	0.046				
	② 天神橋	0.064				
	⑤ 落合橋	0.106				
	飯盛川					
	③ 荻野2号橋	0.393				
	大谷川					
	④ 琵琶野橋	0.610				
兵庫県立農林水 産技術総合セン ター 公益財団法人 ひょうご環境創 造協会	千種川		174	15.8	20.1	
	② 小赤松橋	0.064				
	④ 隈見橋	0.042				
	佐用川					
	① 虚田橋	0.098				
	鞍井川					
	③ 建武橋	0.86				

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水域 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-4-5 農薬の過年度における検出状況（クロチアニジン、平成 31 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		箱剤 182.5	箱剤 33.8	2.9	
	① 高坂橋	0.099				
	④ 落合橋	0.125				
	飯盛川		地上防除 45.5	地上防除 8.34		
	② 荻野 2 号橋	0.240				
	大谷川					
	③ 琵琶野橋	0.950				
地方独立行政法 人大阪府立環境 農林水産総合研 究所	石川		15	0.73	-	
	① 石川橋	0.04				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.44				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.14				

下線：環境基準点

表 4-4-6 農薬の過年度における検出状況（クロチアニジン、平成 30 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		箱施用 209	箱施用 20.1	4.7	
	① 高坂橋	0.098				
	④ 落合橋	0.185				
	飯盛川		地上防除 90.3	地上 防除 8.6		
	② 荻野 2 号橋	0.145				
	大谷川					
③ 琵琶野橋	0.668					
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		17	0.83	-	
	① 石川橋	<0.02				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.04				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.04				

下線：環境基準点

表 4-4-7 農薬の過年度における検出状況（クロチアニジン、平成 29 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	年間平均 濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名			使用 面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川			箱剤 328.4	箱剤 31.7	1.61	
	① 高坂橋	0.131	0.026				
	④ 落合橋	0.124	0.031				
	飯盛川			地上防 除 241	地上防除 23.2		
	② 荻野 2 号橋	0.221	0.031				
	大谷川						
③ 琵琶野橋	0.220	0.043					

下線：環境基準点

4-5 ジノテフラン

	基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水域	12	9.0 (水田 <i>Tier1</i>)
水濁	580	27 (水田 <i>Tier1</i>) (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-5-1 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術研究センター	志戸川		<u>一の橋</u>	<u>一の橋</u>	10.1	
	① 榛沓橋	0.272	水田	水田		
	小山川		4.3	3.2		
	② 前の橋	0.180	畑地	畑地		
	③ <u>一の橋</u>	0.254	89.5	22.7		
	⑥ <u>新明橋</u>	0.083	<u>新明橋</u>	<u>新明橋</u>		
	針ヶ谷排水路		水田	水田		
	④ 赤城見橋	0.056	15.1	3.2		
	唐沢川		畑地	畑地		
	⑤ 6号橋	0.113	325.1	22.7		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		198	78.2	4.3	
	① <u>石川橋</u>	0.86				
	④ <u>高橋</u>	0.86				
	飛鳥川					
	② <u>円明橋</u>	1.11				
	佐備川					
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	③ <u>大伴橋</u>	2.43	930.9	29.0	11.1	
	円山川					
	① 赤崎橋	0.89				
	③ <u>立野大橋</u>	0.77				
	出石川					
	②天神橋	0.57				

表 4-5-2 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考	
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)			
奈良県農業研究開発センター	寺川		水稲 303 野菜果樹 44.2	水稲 45.0 野菜果樹 27.2	4.4		
	① 興仁橋	0.80			6.2		
	曾我川						
	② 曾我川橋	0.72			1.1		
	飛鳥川						
	③ 四分橋	1.04					

下線：環境基準点または補助点

表 4-5-3 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考	
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)			
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	円山川		1010	31.2	18.8		
	① 赤崎橋	0.61					
	② 立野大橋	0.53					
	出石川						
	③ 伊豆橋	0.61					
奈良県農業研究開 発センター	寺川		水田 373 畑地 34.8	水田 55.4 畑地 21.3	6.1		
	① 興仁橋	0.54			3.4		
	曾我川						
	② 曾我川橋	0.60			2.7		
	飛鳥川						
	③ 四分橋	1.10					

下線：環境基準点または補助点

表 4-5-4 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		123.0	11.6	19.9	
	① 三谷橋	0.54				
	② 小貝川大橋	1.65				
	④ 長橋	1.05				
	大羽川					
	③ 手越橋	0.07				
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	佐用川		138.6	13.1	47.2	
	① 虚田橋	0.410				
	千種川					
	② 小赤松橋	0.194				
	④ 隈見橋	0.211				
	鞍井川					
奈良県農業研究開 発センター	③ 建武橋	0.028				
	寺川		水稻 182 野菜果樹 187	水稻 20.2 野菜果樹 43.6	15.9	
	① 興仁橋	1.24				
	曾我川				15.3	
	② 曾我川橋	1.08				
	飛鳥川				2.6	
	③ 四分橋	1.07				

下線：環境基準点または補助点

表 4-5-5 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
兵庫県立農林水産 技術総合センター 公益財団法人 ひょうご環境創造 協会	千種川		318	28.8	7.4	
	② 小赤松橋	0.56				
	④ 隈見橋	0.45				
	佐用川					
	① 虚田橋	1.2				
	鞍井川					
	③ 建武橋	0.19				

下線：環境基準点

表 4-5-6 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、平成31年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		140	6.8	30	
	① 石川橋	0.45				
	④ 高橋	0.25				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.59				
	佐備川					
	③ 大伴橋	1.46				

下線：環境基準点

表 4-5-7 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、平成 30 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		137	6.7	36	
	① 石川橋	0.74				
	④ 高橋	0.21				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.72				
	佐備川					
	③ 大伴橋	1.29				

下線：環境基準点

表 4-5-8 農薬の過年度における検出状況（ジノテフラン、平成 19、21、22 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H22	秋田県農林水産 技術センター	西目川	22.3 (排水路)	11.4	水田農薬河川 モニタリング調査
		獺袋橋 (環境基準点近傍)	3.2		
H21	秋田県農林水産 技術センター	淀川及び 雄物川	3.2 (排水路)	0.1～2.7	水田農薬河川 モニタリング調査
		新波橋	2.2		
H19	高知県環境研究 センター	仁淀川及び 波介川	0.05 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査 汽水域等における モニタリング調査
		八田堰	<0.02		

下線：環境基準点

4-6 ダイアジノン

	基準値 (μg/L)	PEC (μg/L)
水域	0.077	0.059 (非水田 <i>Tier1</i>)
水濁	2	0.84 (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-6-1 農薬の過年度における検出状況（ダイアジノン、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		148.3	38	0.02	
	① 榛沓橋	0.005				
	小山川					
	② 前の橋	0.003				
	③ 一の橋	0.005				
	⑥ 新明橋	0.002				
	針ヶ谷排水路					
	④ 赤城見橋	0.005				
	唐沢川					
	⑤ 6号橋	0.003				

下線：環境基準点

表 4-6-2 農薬の過年度における検出状況（ダイアジノン、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		一の橋 99.4	一の橋 36.0	0.04	
	① 榛沓橋	0.008				
	小山川					
	② 前の橋	0.006				
	③ 一の橋	0.006				
	⑥ 新明橋	0.006	新明橋 515.6	新明橋 36.0		
	針ヶ谷排水路					
	④ 赤城見橋	0.007				
	唐沢川					
⑤ 6号橋	0.007					

下線：環境基準点

表 4-6-3 農薬の過年度における検出状況（ダイアジノン、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川				—	
	① 榛沓橋	0.003	—	—	—	
	小山川				—	
	② 泉沢橋	0.003	—	—	—	
	③ 一の橋	0.003	89.5	33.3	0.02	
	⑥ 新明橋	0.002	511.4	33.3	0.01	
	針ヶ谷排水路				—	
	④ 赤城見橋	0.002	—	—	—	
	唐沢川				—	
	⑤ 6号橋	0.002	—	—	—	

下線：環境基準点

表 4-6-4 農薬の過年度における検出状況（ダイアジノン、平成 16～20 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	検出濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：測定点			
H20	秋田県健康環境 センター	雄物川河口から男 鹿半島	未検出	-	汽水域等における モニタリング調査
		-	-		
H19	群馬県衛生環境 研究所	利根川	-	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		利根川上流	未検出		
		ゴルフ場調整池	定量下限値 検出		
		暗渠水路	未検出		
		利根川下流	未検出		
H18	兵庫県立健康環 境科学研究セン ター	杉原川	-	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋	<0.01		
H17	兵庫県立健康環 境科学研究セン ター	詳細不明	未検出	-	非水田農薬河川 モニタリング調査
H16	徳島県立保健環 境センター	鮎喰川		-	非水田農薬河川 モニタリング調査
		柳瀬橋	0.001～ 0.035		

4-7 チアメトキサム

	基準値 (μg/L)	PEC (μg/L)
水域	3.5	0.58 (水田 <i>Tier2</i>)
水濁	47	14 (水田 <i>Tier1</i>) (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-7-1 農薬の過年度における検出状況（チアメトキサム、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		55.5	14.1	13.8	
	① 榛杓橋	0.086				
	小山川					
	② 前の橋	0.185				
	③ 一の橋	0.059				
	⑥ 新明橋	0.039				
	針ヶ谷排水路					
	④ 赤城見橋	0.114				
	唐沢川					
地方独立行政法 人大阪府立環境 農林水産総合研 究所	⑤ 6号橋	0.092	—	—	0	
	石川					
	① 石川橋	<0.02				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	<0.02				
	佐備川		—	—	0	
	③ 大伴橋	<0.02				

下線：環境基準点

表 4-7-2 農薬の過年度における検出状況（チアメトキサム、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川		<u>一の橋</u> 58.9	<u>一の橋</u> 21.4	4.4	
	① 榛沓橋	0.198				
	小山川					
	② 前の橋	0.081				
	③ <u>一の橋</u>	0.077				
	⑥ <u>新明橋</u>	0.036	<u>新明橋</u> 305.7	<u>新明橋</u> 21.4		
	針ヶ谷排水路					
	④ 赤城見橋	0.161				
	唐沢川					
	⑤ 6号橋	0.051				

下線：環境基準点

表 4-7-3 農薬の過年度における検出状況（チアメトキサム、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	志戸川				-	
	① 榛沓橋	0.046	-	-	-	
	小山川				-	
	② 泉沢橋	0.041	-	-	-	
	③ <u>一の橋</u>	0.039	31.4	11.7	35.0	
	⑥ <u>新明橋</u>	0.029	179.3	11.7	5.1	
	針ヶ谷排水路				-	
	④ 赤城見橋	0.109	-	-	-	
	唐沢川				-	
	⑤ 6号橋	0.016	-	-	-	

下線：環境基準点

表 4-7-4 農薬の過年度における検出状況（チアメトキサム、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μ g/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		0	0	0	
	① 三谷橋	<0.04				
	② 小貝川大橋	<0.04				
	④ 長橋	<0.04				
	大羽川					
	③ 手越橋	<0.04				
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		9.3	1.7	19.1	
	① 高坂橋	0.013				
	② 天神橋	0.009				
	⑤ 落合橋	0.010				
	飯盛川					
	③ 荻野2号橋	0.007				
	大谷川					
	④ 琵琶野橋	0.005				

下線：環境基準点

表 4-7-5 農薬の過年度における検出状況（チアメトキサム、平成 31 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		1.3	0.2	71.4	
	① 高坂橋	0.017				
	④ 落合橋	0.024				
	飯盛川					
	② 荻野 2 号橋	0.010				
	大谷川					
	③ 琵琶野橋	0.049				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		0	0	—	
	① 石川橋	<0.02				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	<0.02				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.03				

下線：環境基準点

表 4-7-6 農薬の過年度における検出状況（チアメトキサム、平成 30 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		41	3.9	9.6	
	① 高坂橋	0.019				
	④ 落合橋	0.023				
	飯盛川					
	② 荻野 2 号橋	0.039				
	大谷川					
	③ 琵琶野橋	0.062				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		0	0	—	
	① 石川橋	<0.02				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	<0.02				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.03				

下線：環境基準点

表 4-7-7 農薬の過年度における検出状況（チアメトキサム、平成 29 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	年間平均 濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名			使用 面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業 技術研究 センター	越辺川			22.8	2.2	9.99	
	① 高坂橋	0.021	0.010				
	④ 落合橋	0.050	0.019				
	飯盛川						
	② 荻野 2 号橋	0.060	0.018				
	大谷川						
	③ 琵琶野橋	0.083	0.024				

下線：環境基準点

4-8 トリシクラゾール

	基準値 (μg/L)	PEC (μg/L)
水域	2100	3.0 (水田 <i>Tier1</i>)
水濁	100	27 (水田 <i>Tier1</i>)

表 4-8 農薬の過年度における検出状況（トリシクラゾール、平成 15 年度）

実施機関	河川名	最大濃度 (μg/L)	流出率 (%)	備考
茨城県農業総合 センター	里川、山田川及び 久慈川	<0.2	－	モニタリング調査

4-9 フェニトロチオン（MEP）

	基準値 (μg/L)	PEC (μg/L)
水域	1.4	0.98 (非水田 <i>Tier1</i>)
水濁	13	6.0 (水田 <i>Tier2</i>) (非水田 <i>Tier1</i>)

表 4-9-1 農薬の過年度における検出状況（フェニトロチオン（MEP）、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術研究 センター	志戸川		447.2	31.2	1.19	
	① 榛沓橋	0.976				
	小山川					
	② 前の橋	0.242				
	③ 一の橋	0.222				
	⑥ 新明橋	0.122				
	針ヶ谷排水路					
	④ 赤城見橋	0.662				
	唐沢川					
	⑤ 6号橋	0.094				

下線：環境基準点

表 4-9-2 農薬の過年度における検出状況（フェニトロチオン（MEP）、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		-	-	-	
	① 石川橋	0.09				
	④ 高橋	0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.10				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.06				

下線：環境基準点または補助点

－：農薬の使用実態が確認できず

4-10 フェノブカルブ（BPMC）

	基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水域	1.9	0.67（モニタリング）
水濁	34	8.9（水田 <i>Tier2</i> ） （非水田 <i>Tier1</i> ）

表 4-10-1 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
奈良県農業研究開発 センター	寺川		水稲 71.9	水稲 10.7	0.7	
	① 興仁橋	0.14				
	曾我川				0.5	
	② 曾我川橋	0.06				
	飛鳥川				0.1	
	③ 四分橋	0.12				

下線：環境基準点または補助点

表 4-10-2 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		39.5	15.7	0.98	
	① 石川橋	0.09				
	④ 高橋	0.64				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.06				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.16				
奈良県農業研究開発 センター	寺川		74.3	11.0	0.4	
	① 興仁橋	0.28				
	曾我川				1.1	
	② 曾我川橋	0.36				
	飛鳥川				<0.05	
	③ 四分橋	0.05				

下線：環境基準点または補助点

表 4-10-3 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		0	0	-	
	① 石川橋	0.69 ^{※2}				
	④ 高橋	0.34				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.30				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.37				
奈良県農業研究開発 センター	寺川		96.2	10.7	20.4	
	① 興仁橋	0.84 ^{※2}				
	曾我川				3.5	
	② 曾我川橋	0.50				
	飛鳥川				0.1	
	③ 四分橋	0.15				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水域 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

表 4-10-4 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		15.6	2.9	3.9	
	① 高坂橋	0.016				
	② 天神橋	<0.005				
	⑤ 落合橋	0.009				
	飯盛川					
	③ 荻野2号橋	<0.005				
	大谷川					
	④ 琵琶野橋	<0.005				

下線：環境基準点

表 4-10-5 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、平成 31 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術 研究センター	越辺川		15.6	2.9	3.3	
	① 高坂橋	0.032				
	⑤ 落合橋	0.029				
	飯盛川					
	③ 荻野 2 号橋	0.025				
	大谷川					
	④ 琵琶野橋	0.245				

下線：環境基準点

表 4-10-6 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、平成 30 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
奈良県農業開発 研究センター	飛鳥川		137.9	15.7	0.2	
	① 四分橋	0.40				
	曾我川				2.9	
	② 曾我川橋	0.57				
	寺川				3.1	
	③ 興仁橋	0.82 ^{※2}				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

表 4-10-7 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、平成 29 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	年間 平均濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名			使用 面積 (ha)	普及率 (%)		
奈良県農業開発 研究センター	飛鳥川			158.6	18.1	0.2	
	① 四分橋	1.3	0.07				
	曾我川					4.6	
	② 曾我川橋	1.04 ^{※2}	0.11				
	寺川					9.8	
	③ 興仁橋	1.7 ^{※2}					

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

表 4-10-8 農薬の過年度における検出状況（フェノブカルブ（BPMC）、平成 15、18 年度）

年度	実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：観測点名			
H18	兵庫県立健康環境 科学研究センター	杉原川	0.08	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋			
H15	北海道環境科学 研究センター	滝の川	0.07	-	生態環境野外調査

4-11 ブタクロール

	基準値 (μg/L)	PEC (μg/L)
水域	3.1	0.15 (水田 Tier2)
水濁	20	0.4 (水田 Tier2)

表 4-11-1 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	石狩川		1870	4.8	4.1	
	① 納内橋	0.179 [※]				
	② 砂川大橋	0.174 [※]				
	③ 石狩大橋	0.106				
京都府農林水産技術センター農林センター	園部川		213	23.1	3.2	
	① 神田橋	0.75 [※]				
	犬飼川				3.6	
	② 並河橋	0.64 [※]				
	桂川				3.1	
	③ 保津峡	0.19 [※]				
奈良県農業研究開発センター	寺川		水稻 187	27.8	1.9	
	① 興仁橋	0.13				
	曾我川				1.2	
	② 曾我川橋	0.26 [※]				
	飛鳥川				0.5	
	③ 四分橋	0.28 [※]				

下線：環境基準点または補助点

※：水域 PEC 超過（PEC との比較には、環境基準点または補助点における最大濃度を用いた）

表 4-11-2 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
栃木県農業試験場	小貝川		87.8	1.7	3.1	
	① 三谷橋	0.474				
	② 小貝川大橋	1.65				
	④ 長橋	0.904				
	大羽川					
	③ 手越橋	0.831				

京都府農林水産技術 センター農林センタ ー	園部川		213	22.7	2.0	
	① 神田橋	0.58※ ²			1.8	
	犬飼川					
	② 並河橋	1.12※ ²				
	桂川				3.1	
③ 保津峽	0.13					
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川		62	24.4	1.9	
	① 石川橋	0.17※ ²				
	④ 高橋	0.12				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.31※ ²				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.67※ ²				
奈良県農業研究開発 センター	寺川		211	31.4	0.3	
	① 興仁橋	0.18※ ²			0.4	
	曾我川					
	② 曾我川橋	0.29※ ²			<0.05	
	飛鳥川					
	③ 四分橋	0.03				

下線：環境基準点または補助点

※2：水域 PEC 超過（PEC との比較には、環境基準点または補助点における最大濃度用いた）

表 4-11-3 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
京都府農林水産技術 センター農林センタ ー	園部川		88	9.0	11.4	
	① 神田橋	0.65 ^{※2}				
	犬飼川				15.6	
	② 並河橋	1.4 ^{※2}				
	桂川				12.3	
	③ 保津峡	0.22 ^{※2}				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川		440	27.3	2.2	
	① 石川橋	0.25 ^{※2}				
	④ 高橋	0.13				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.20 ^{※2}				
	佐備川					
	③ 大伴橋	1.66 ^{※2}				
奈良県農業研究開発 センター	寺川		250	27.8	2.7	
	① 興仁橋	0.38 ^{※2}				
	曾我川				1.2	
	② 曾我川橋	0.92 ^{※2}				
	飛鳥川				0.2	
	③ 四分橋	0.38				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水域 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

表 4-11-4 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
京都府農林水産技術センター農林センター	犬飼川		272.5	21.2	1.4	
	① 並河橋	1.3 ^{※2}				
	七谷川				6.4	
	② 出背橋	1.9				
	桂川				5.8	
	③ 保津峡	0.22 ^{※2}				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所	石川		440	27.3	0.64	
	① 石川橋	0.18 ^{※2}				
	④ 高橋	0.29 ^{※2}				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.24 ^{※2}				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.47 ^{※2}				

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-11-5 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、平成30年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
奈良県農業研究開発センター	飛鳥川		245.8	28.1	0.1	
	① 四分橋	0.25				
	曾我川				1.3	
	② 曾我川橋	0.53 ^{※2}				
	寺川				1.9	
	③ 興仁橋	0.29 ^{※2}				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-11-6 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、平成 29 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	年間 平均濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名			使用 面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川			82	4.0	0.40	
	① 石川橋	0.20 ^{※2}	<0.04				
	④ 高橋	0.22 ^{※2}	<0.04				
	飛鳥川						
	② 円明橋	0.19 ^{※2}	<0.04				
	佐備川						
	③ 大伴橋	0.37 ^{※2}	<0.04				
奈良県農業開発研究 センター	飛鳥川			189.8	21.7	0.1	
	① 四分橋	0.16	<0.04				
	曾我川					1.8	
	② 曾我川橋	0.96 ^{※2}	0.05				
	寺川					2.3	
	③ 興仁橋	0.76 ^{※2}	<0.04				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

表 4-11-7 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、平成 28 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	年間 平均濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名			使用 面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川			82	4.0	0.40	
	① 石川橋	0.36 ^{※2}	<0.04				
	④ 高橋	0.19 ^{※2}	<0.04				
	飛鳥川						
	② 円明橋	0.42 ^{※2}	<0.04				
	佐備川						
	③ 大伴橋	0.70 ^{※2}	<0.04				
奈良県農業開発研 究センター	飛鳥川			204.2	23.3	0.3	
	① 四分橋	0.37	<0.04				
	② 甘樫橋	0.39	<0.04				
	曾我川					2.5	
	② 曾我川橋	0.68 ^{※2}	0.04				
	寺川						
	③ 興仁橋	0.70 ^{※2}	0.05			2.3	

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-11-8 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、27 年度）

測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
	下：環境基準 点	下：環境基準点 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産 総合研究所	石川		19.6	河川中農薬 モニタリング調査
	① 石川橋	1.95 ^{※2}		
	④ 高橋	0.72 ^{※2}		
	飛鳥川			
	② 円明橋	1.73 ^{※2}		
	佐備川			
	③ 大伴橋	2.82 ^{※2}		

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-11-9 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、平成 20～26 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度（μg/L）	流出率 （%）	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度（μg/L）		
H26	地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川	0.66	2	河川中農薬 モニタリング調査
		石川橋	0.62※2		
		高橋	0.66※2		
		飛鳥川	0.88		
		円明橋	0.88※2		
		佐備川	1.18		
		大伴橋	1.18※2		
H25	地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川	0.80	0.8	河川中農薬 モニタリング調査
		高橋	0.80※2		
		佐備川	1.07		
		大伴橋	1.07※2		
		石川	0.35		
		石川橋	0.35※2		
	高知県農業技術 センター	仁井田川	0.09(主観測点)	①0.7	河川中農薬 モニタリング調査
		根元橋	0.09	①1.2	
		四万十川	0.08		
H24	大阪府立環境農林水 産総合研究所	佐備川	3.4 (流入小河川)	4	河川中農薬 モニタリング調査
		大伴橋	1.2※2		
	島根県農業技術 センター	赤川	0.55	11.1	河川中農薬 モニタリング調査
		宇治	0.55※2		
H22	大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川、佐備川 及び宇奈田川	3.5 (動態観測点)	15.3	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点手 前	3.2		
H21	北海道環境科学 研究センター	－	0.646 (水田排水路)	0.001～ 0.03	水田農薬精密 モニタリング調査
	大阪府立環境農林水 産総合研究所	千早川及び 石川	1.0(上流部観測点)	3.0	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 F	0.5		
H20	北海道環境科学研究 センター	－	72.4 (水田排水路)	1.35	水田農薬精密 モニタリング調査
	大阪府環境農林 水産総合研究所 研究センター	千早川及び 石川	5.2 (動態観測点)	7.8-14.4	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 G	0.4		

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-11-10 農薬の過年度における検出状況（ブタクロール、平成 15、18、19 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 (µg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 (µg/L)		
H19	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	5.87 (動態観測点)	40	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 G	0.51		
H18	大阪府立食とみどりの 総合技術センター	千早川及び 石川	1.52	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 F	0.34		
H15	北海道環境科学 研究センター	滝の川	5.05	-	生態環境野外調査

4-12 プレチラクロール

	基準値(μg/L)	PEC(μg/L)
水域	2.9	1.1 (水田 <i>Tier2</i>)
水濁	47	16 (水田 <i>Tier1</i>)

表 4-12-1 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		12220	20	8.5	
	① 納内橋	0.429				
	② 砂川大橋	0.597				
	③ 石狩大橋	0.612				

下線：環境基準点

表 4-12-2 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		15610	25	8.3	
	① 納内橋	0.712				
	② 砂川大橋	0.711				
	③ 石狩大橋	0.879				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		114.8	45.4	1.6	
	① 石川橋	0.22				
	④ 高橋	0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	1.46 ^{※2}				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.42				

下線：環境基準点または補助点

※2：水域 PEC 超過（PEC との比較には、環境基準点または補助点における最大濃度用いた）

表 4-12-3 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		12310	17.91	26	
	① 納内橋	0.541				
	② 砂川大橋	0.732				
	③ 石狩大橋	0.777				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川		960	59.3	0.78	
	① 石川橋	0.23				
	④ 高橋	< 0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.44				
	佐備川					
香川県農業試験場	③ 大伴橋	0.20				
	高瀬川		84.3	19.9		
	① 長法寺橋	0.28			0.6	
	② 三野新橋	0.48			3.3	
	③ 洲崎橋	0.32			5.0	

下線：環境基準点

表 4-12-4 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	石狩川		18,494	26.0	13	
	① 納内橋	1.07				
	② 砂川大橋	1.50 ^{※2}				
	③ 石狩大橋	1.43 ^{※2}				
地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所	石川		960	59.3	0.39	
	① 石川橋	0.25				
	④ 高橋	<0.02				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.84				
	佐備川					
香川県農業試験場	③ 大伴橋	0.14				
	高瀬川		90.2	20.5		
	① 長法寺橋	0.68			0.7	
	② 三野新橋	0.29			0.8	
	③ 洲崎橋	0.28			0.5	

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-12-5 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成31年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人北海道立総合研究機構	石狩川		18,494 ⁽¹⁾	26.0		
	① 納内橋	0.644			8.1	
	② 砂川大橋	0.829			12	
	③ 石狩大橋	1.19 ^{※2}			9.7	

下線：環境基準点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。) (1)：プレチラクロール剤が使用された延べ面積を示す。

表 4-12-6 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 29 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
埼玉県農業技術研究 センター	越辺川		318.1	28.3	1.61	
	① 高坂橋	0.31				
	④ 落合橋	2.22 ^{※2}				
	飯盛川					
	② 荻野 2 号線	2.33				
	大谷川					
	③ 琵琶野橋	6.27				
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川		不明	不明	—	
	① 石川橋	0.42				
	④ 高橋	0.09				
	飛鳥川					
	② 円明橋	0.58				
	佐備川					
	③ 大伴橋	0.15				
奈良県農業研究開発 センター	飛鳥川		153.3	17.5	0.1	
	① 四分橋	0.10				
	曾我川				3.9	
	② 曾我川橋	0.50				
	寺川				2.6	
	③ 興仁橋	0.34				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

表 4-12-7 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 28 年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	年間 平均濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名			使用 面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	当別川			311.8	19.3	9.3	
	① 青山橋	<0.001	<0.001				
	② 金沢橋	0.383	0.010				
	④ 南5号新橋	0.767	0.017				
	⑤ 19線橋	0.657	0.016				
	材木川						
埼玉県農業技術研 究センター	都幾川			536.6	40.0	2.1	
	① 東松山橋	0.07	<0.03				
	越辺川						
	② 高坂橋	1.03	0.05				
	⑤ 落合橋	2.76※2	0.10				
	飯盛川						
	③ 荻野2号橋	0.68	0.04				
	大谷川						
地方独立法人大阪 府立環境農林水産 総合研究所	④ 合流手前	4.12	0.13	1.2	0.058	-	
	石川						
	① 石川橋	0.12	<0.04				
	④ 高橋	<0.04	<0.04				
	飛鳥川						
	② 円明橋	0.33	<0.04				
	佐備川						
奈良県農業開発研 究センター	③ 大伴橋	0.14	<0.04	224.9	25.7	0.1	
	飛鳥川					2.7	
	① 四分橋	0.26	<0.04			1.7	
	② 甘檜橋	0.32	<0.04				
	曾我川						
	③ 曾我川橋	0.46	0.04				
	寺川						
	④ 興仁橋	0.45	<0.04				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

-：求められず

表 4-12-8 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 27 年度）

測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
	下：環境基準 点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	鵒川	0.410(環境基準点)	16	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>鵒川大橋</u>	0.410		
	厚真川	0.752(環境基準点)	0.73	
	<u>厚真新橋</u>	0.752		
	ウクル川	0.351		
	森田橋(支流)	0.351		
	軽舞川	0.463		
	若草橋(支流)	0.463		
栃木県農業試験場	小貝川	4.04(上流動態観測点)	4.86	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>三谷橋</u>	2.19※2		
	大羽川	1.86(動態観測点)	5.48	
	手越橋 (動態観測点)	1.86		
埼玉県	市野川	0.98(環境基準点)	1.62	河川中農薬 モニタリング調査
	徒歩橋	0.98		
	越辺川	2.51(環境基準点)	1.54	
	<u>落合橋</u>	2.51※2		
	飯盛川	1.58(上流動態観測点)		
	荻野2号橋 (上流動態観測 点)	1.58		
	大谷川	4.58(上流動態観測点)		
	ポンプ場 (上流動態観測 点)	4.58		
千葉県	鹿島川・高崎川	2.6※2(環境基準点)	33	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>鹿島橋</u>	2.6※2		
	鹿島川	3.0(動態観測点)		
	<u>岩富橋</u>	1.0		
	高崎川	2.2(動態観測点)		
	④樋之口橋 (動態観測点)	2.2		
	師戸川	2.8(環境基準点)	15	
	<u>師戸橋</u>	2.8※2		

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産 総合研究所	石川	1.05(環境基準点)	— ⁽¹⁾	河川中農薬 モニタリング調査 (1):正確な使用量の 把握が困難のため算 出は行わなかった
	<u>石川橋</u>	1.05		
	飛鳥川	1.31(環境基準点)		
	<u>円明橋</u>	1.31 ^{※2}		
	佐備川	2.15(環境基準点)		
	<u>大伴橋</u>	2.15 ^{※2}		
奈良県	飛鳥川	6.49(上流動態観測点)	0.7	河川中農薬 モニタリング調査
	甘檜橋 (上流動態観測 点)	6.49		
	曾我川	0.38(環境基準点)	11.8	
	<u>曾我川橋</u>	0.38		
	寺川	0.59(主観測点)	6.5	
	<u>興仁橋</u>	0.59		

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-12-9 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 26 年度）

測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 (μg/L)	流出率 (%)	備考
	下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 (μg/L)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	鵠川	0.358(環境基準点)	3.6	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>鵠川橋</u>	0.358		
	厚真川	1.76(環境基準点)	1.7	
	<u>厚真新橋</u>	1.76※2		
	軽舞川	0.384 (支流)		
	若草橋	0.384		
茨城県	浅川	7.48(環境基準点)	37.8	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>浅川橋</u>	7.48※1,2		
	久慈川	2.02(環境基準点)	18.4	
	<u>榊橋</u>	2.02※2		
栃木県農業試験場	小貝川	4.66(上流動態観測点)	3.88～ 17.51	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>三谷橋</u>	2.44※2		
	ぐみ川	0.62(動態観測点)	0.23	
	十六橋 (動態観測点)	0.62		
埼玉県	飯盛川	1.32(上流動態観測点)	4.4	河川中農薬 モニタリング調査
	荻野2号橋 (上流動態観測点)	1.32		
	越辺川	0.55(環境基準点)		
	<u>落合橋</u>	0.55		
	市野川	0.65(環境基準点)		
	徒歩橋	0.65		
千葉県	鹿島川・高崎川	2.4 (環境基準点)	29	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>鹿島橋</u>	2.4※2		
	鹿島川	2.6 (動態観測点)		
	<u>岩富橋</u>	1.6※2		
	高崎川	1.8 (動態観測点)		
	樋之口橋 (動態観測点)	1.8		
	師戸川	7.2 (環境基準点)	25	
	<u>師戸橋</u>	7.2※1,2		

京都府農林水産技術 センター	犬飼川	0.183（環境基準点）	22	河川中農薬 モニタリング調査
	並河橋	0.183		
	西川	0.039（補助点）	0.1	
	桂川流入前	0.039		
	桂川	0.045（補助点）	－	
	<u>保津峡入口</u>	0.045		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林 水産総合研究所	石川	0.48（環境基準点）	5	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>石川橋</u>	0.48		
	<u>高橋</u>	0.37		
	飛鳥川	0.75（環境基準点）		
	<u>円明橋</u>	0.75		
	佐備川	1.44（環境基準点）		
	<u>大伴橋</u>	1.44※2		
奈良県	飛鳥川	3.04(上流動態観測点)	0.4	河川中農薬 モニタリング調査
	四分橋	1.64		
	曾我川	0.26（環境基準点）	3.7	
	<u>曾我川橋</u>	0.26		
	寺川	0.60（主観測点）	0.5	
	<u>興仁橋</u>	0.60		
香川県農業試験場	高瀬川	0.27(動態観測点)	0.7～1.8	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>唐崎橋</u>	0.18		

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-12-10 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 25 年度）

測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 (μ g/L)	流出率 (%)	備考
	下：環境基準点	下：環境基準点 最大濃度 (μ g/L)		
北海道立総合研究機構 環境科学研究センター	鵠川	0.144 (環境基準点)	12	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>鵠川橋</u>	0.144		
	厚真川	0.572(排水路)	8.7	
	浜厚真橋	0.442		
茨城県農業総合 センター農業研究所	浅川	2.76 (環境基準点)	6.54	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>浅川橋</u>	2.76※2		
	久慈川	0.64(環境基準点)	推定 不可	
	<u>榊橋</u>	0.64		
埼玉県農林総合 研究センター	都幾川	<0.1(環境基準点)	①0.6 ②1.3 参考値	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>東松山橋</u>	<0.1		
	越辺川	2.3(環境基準点)		
	<u>落合橋</u>	2.3※2		
千葉県農林総合 研究センター	高崎川	3.9(動態観測点)	12	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>竜灯橋</u>	2.4※2		
	鹿島川、高崎川	3.9(動態観測点)	6.2	
	<u>鹿島橋</u>	2.3※2		
	師戸川	3.4 (環境基準点)	9.1	
	<u>師戸橋</u>	3.4※1, 2		
地方独立行政法人大阪 府立環境農林水産総合 研究所	石川	0.07(環境基準点)	1	河川中農薬 モニタリング調査
	<u>高橋</u>	0.07		
	佐備川	0.65(環境基準点)		
	<u>大伴橋</u>	0.65		
	石川	0.19(環境基準点)		
	<u>石川橋</u>	0.19		
高知県農業技術 センター	波介川	0.76 (観測点)	2.3	河川中農薬 モニタリング調査
	弥九郎橋	0.17		
	仁井田川	0.40(主観測点)	1.8	
	根元橋	0.40		
	四万十川	0.12(環境基準点)	1.9	
	<u>鍛冶屋瀬橋</u>	0.12		

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

①：流速計の測定値から算出した流量をもとに求めたもの。

②：観測推移から算出した流量（荒川上流河川事務所 HP による）をもとに求めたもの。

表 4-12-11 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 21～24 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準 点	下：環境基準点 最大濃度(μg/L)		
H24	北海道立総合研究機構環境科学研究センター	沙流川	0.125（排水路）	0.8～ 1.2	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>沙流川橋</u>	0.023		
	茨城県農業総合センター農業研究所	浅川	3.98 （動態観測点）	13.5	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>浅川橋</u>	2.04※2		
	千葉県農林総合研究センター	鹿島川	2.6（支流観測点等）	5.7	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>鹿島橋</u>	2.6※2		
	長野県農業試験場	千曲川	3.3 （上流部観測点）	0.8	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>立ヶ花橋</u>	0.2		
	大阪府立環境農林水産総合研究所	佐備川	0.6（上流部観測点）	2	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>大伴橋</u>	0.3		
	島根県農業技術センター	赤川	4.07（動態観測点）	48.8	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>宇治</u>	2.22※2		
	高知県農業技術センター	柳瀬川	4.825※1,2（支流）	5.4	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>黒岩橋</u>	0.961		
H23	北海道立総合研究機構環境科学研究センター	千歳川	2.86 （排水路）	11.0	水田農薬河川 モニタリング調査
		東光橋	1.87		
	茨城県農業総合センター農業研究所	浅川	2.26（動態観測点）	6.1	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>浅川橋</u>	1.6※2		
	高知県農業技術センター	柳瀬川	2.0（支流）	10.5	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>黒岩橋</u>	0.6		
H22	茨城県農業総合センター	桂川及び岩船川	2.28（動態観測点）	-	水田農薬河川 モニタリング調査
	大阪府環境農林水産総合研究所	石川、宇奈田川及び佐備川	2.2（動態観測点）	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流点手前	1.1		
H21	茨城県農業総合センター	渋江川、山田川及び里川	3.52（動態観測点）	4	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>新落合橋</u>	1.82※2		
	大阪府環境農林水産総合研究所	千早川及び石川	1.5 （動態観測点）	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		地点 F	0.5		

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-12-12 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 18～21 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準点	下：環境基準 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H21	島根県農業技術 センター	新田川及び 斐伊川	2.2 (他地区から の排水地点)	9.1	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>神立橋</u>	<0.6		
H20	秋田県農林水産 技術センター	淀川及び 雄物川	4.3 (環境基準点)	2.2～ 18.6	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>新波橋</u>	4.3 ^{※1,2}		
	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	0.4 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点	0.2		
H19	大阪府環境農林 水産総合研究所	千早川及び 石川	30.37 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点 (地点 G)	2.68		
	秋田県農林水産 技術センター	子吉川	10.3 (排水路)	2.79～ 26.53	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>新二十六木橋</u>	2.6 ^{※2}		
	埼玉県環境科学 国際センター	元荒川	4.9 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>渋井橋</u>	2.4 ^{※2}		
	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川		-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋	0.2		
H18	秋田県農林水産 技術センター	岩見川及び 雄物川	31.6 (排水路)	8.4	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>秋田大橋</u>	1.4 ^{※2}		
	埼玉県環境科学 国際センター	中川	21.5 (上流部観測点)	-	長期河川 モニタリング調査
		<u>道橋</u>	7.78 ^{※1,2}		
	大阪府食とみどりの 総合技術センター	千早川及び 石川	<0.1	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		石川合流地点 (地点 F)	<0.1		
	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川	2.8 (動態観測点)	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋	0.47		

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

表 4-12-13 農薬の過年度における検出状況（プレチラクロール、平成 15～17 年度）

年度	測定機関 都道府県	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	流出率 (%)	備考
		下：環境基準 点	下：環境基準 最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)		
H17	北海道立中央農業 試験場	夕張川	6.10 (観測点)	8.1	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>馬追橋</u>	0.95		
	神奈川県環境科学 センター	渋田川	2.12 (補助点)	-	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>立堀橋</u>	2.12 ^{※2}		
	兵庫県立健康環境 科学研究センター	杉原川	0.95 (動態観測点)	-	水田農薬河川モニタリング調査
		春日橋	0.36		
H16	青森県農林総合 研究センター	岩木川	6 (動態観測点)	-	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>乾橋</u>	2 ^{※2}		
	埼玉県農林総合 研究センター	大谷川	2.5 (動態観測点 (水田排水路))	166	長期河川モニタリング調査
H15	北海道環境科学 センター	滝の川	0.91	-	生態影響野外調査
	茨城県農業総合 センター	里川、山田川 及び久慈川	81.2 (動態観測点 (水田排水路))	0.67～ 3.42	モニタリング調査
	大阪府食とみどりの 総合技術センタ ー	石川及び 大乘川	0.5	-	モニタリング 調査

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

(基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点または補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。)

4-13 ブロモブチド

	登録保留基準値 (μg/L)	PEC (μg/L)
水域	480	23 (水田 <i>Tier1</i>)
水濁	100	36 (水田 <i>Tier1</i>)

表 4-13-1 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、令和5年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		9120	15	15	
	① 納内橋	0.688				
	② 砂川大橋	2.01				
	③ 石狩大橋	1.65				
京都府農林水産技術 センター農林センタ ー	園部川		292.5	31.2	6.8	
	① 神田橋	2.32			16.2	
	犬飼川					
	② 並河橋	2.16			3.4	
	桂川					
	③ 保津峡	1.25				

下線：環境基準点または補助点

表 4-13-2 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、令和4年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		14540	23	9.2	
	① 納内橋	1.23				
	② 砂川大橋	2.70				
	③ 石狩大橋	1.56				
香川県農業試験場	高瀬川		44.3	8.6	15.4	
	① 長法寺橋	4.38			62.7	
	② 横山橋	4.70				
	③ 洲崎橋	3.02			7.4	

下線：環境基準点

表 4-13-3 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、令和3年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構	石狩川		5860	15.1	14	
	① 納内橋	0.736				
	② 砂川大橋	1.96				
	③ 石狩大橋	1.24				

下線：環境基準点

表 4-13-4 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、令和2年度）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	年間平均濃 度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)
	下：観測点名			使用面積 (ha)	普及率 (%)	
香川県農業試験場	高瀬川			62.5	14.1	
	① 長法寺橋	5.24	0.28			18.7
	② 三野新橋	2.21	0.18			29.7
	③ 洲崎橋	2.62	0.26			13.4

下線：環境基準点

表 4-13-5 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、平成29年）

実施機関	上：河川名	最大濃度 ($\mu\text{g/L}$)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名		使用面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川		650	31	3.18	
	① 石川橋	7.53				
	④ 高橋	5.50				
	飛鳥川					
	② 円明橋	15.30				
	佐備川					
	③ 大伴橋	13.04				

下線：環境基準点

表 4-13-6 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、平成 28 年）

実施機関	上：河川名	最大濃度 (μg/L)	年間 平均濃度 (μg/L)	農薬の使用実態		農薬 流出率 (%)	備考
	下：観測点名			使用 面積 (ha)	普及率 (%)		
地方独立法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川			650	32	6.4	
	① 石川橋	4.73	0.19				
	④ 高橋	4.94	0.13				
	飛鳥川						
	② 円明橋	6.53	0.27				
	佐備川						
	③ 大伴橋	10.17	0.31				
奈良県農業開発研究 センター	飛鳥川			147.3	16.8	1.1	
	① 四分橋	1.71	0.06			9.0	
	② 甘樫橋	2.08	0.06				
	曾我川					19.4	
	③ 曾我川橋	1.88	0.11				
	寺川						
	④ 興仁橋	1.91	0.13				

下線：環境基準点または補助点

表 4-13-7 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、平成 27 年）

実施機関	上：河川名	上：調査全体 最大濃度 (μg/L)	流出率 (%)	備考	
	下：観測点名	下：環境基準 最大濃度 (μg/L)			
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産 総合研究所	石川		26.3	河川中農薬 モニタリング調査	
	① 石川橋	11.2			
	④ 高橋	5.71			
	飛鳥川				
	② 円明橋	9.68			
	佐備川				
	③ 大伴橋	24.3 ^{*2}			
奈良県農業開発研究 センター	飛鳥川		2.9	河川中農薬 モニタリング調査	
	① 四分橋				
	② 甘檜橋	6.21			
	曾我川		77.2		
	③ 曾我川橋	2.29			
	寺川		24.5		
④ 興仁橋 (主観測点)	3.50				

下線：環境基準点または補助点

※1：水域基準値超過、※2：水産 PEC 超過、※3：水濁基準値超過、※4：水濁 PEC 超過

（基準値及び PEC との比較には、水産は環境基準点又は補助点における最大濃度を、水濁は年間平均濃度をそれぞれ用いた。）

表 4-13-8 農薬の過年度における検出状況（ブロモブチド、平成 15～24、26 年）

年度	実施機関	上：河川名	上：調査全体 最大濃度(μg/L)	流出率 (%)	備考
		下：観測点名	下：環境基準 最大濃度(μg/L)		
H26	宮城県	白石川		-	河川中農薬 モニタリング調査 (参考データとし ての測定)
		城山橋 (参考観測点)	8		
		松川			
		宮大橋	2		
		藪川			
		相ノ澤橋 (参考観測点)	30		
	地方独立行政法人 大阪府立環境農林水 産総合研究所	石川		14	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>石川橋</u>	14.28		
		<u>高橋</u>	4.48		
		飛鳥川			
		<u>円明橋</u>	13.06		
		佐備川			
		<u>大伴橋</u>	18.45		
	奈良県	飛鳥川	2.32 (上流動態観測点)	6.1	河川中農薬 モニタリング調査
四分橋		2.10			
曾我川			33.3		
<u>曾我川橋</u>		2.58			
寺川			16.6		
<u>興仁橋</u>		4.38			
H24	北海道立総合研究機 構環境科学研究セン ター	沙流川	0.764 (農村排水観測点)	492	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>沙流川橋</u>	0.034		
	茨城県農業総合 センター農業研究所	浅川	7.04 (動態観測点)	7.7	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>浅川橋</u>	6.89		
	大阪府立環境農林水 産総合研究所	佐備川	14.4 (流入小河川)	22	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>大伴橋</u>	12.4		
	島根県農業技術 センター	赤川	6.22	36.5	河川中農薬 モニタリング調査
		<u>宇治</u>			

H24	高知県農業技術センター	柳瀬川	6.064（支流）	20.2	河川中農薬モニタリング調査
		<u>黒岩橋</u>	4.792		
H23	島根県農業技術センター	斐伊川	5.3（排水路）	8.7	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>神立橋</u>	1.3		
H22	北海道環境科学研究センター	-	86.2 （暗渠排水）	0.52～ 13.7	水田農薬精密モニタリング調査
	大阪府環境農林水産総合研究所	石川、左備川及び宇奈田川	29.0 （動態観測点）	33.2 （地点C）	水田農薬河川モニタリング調査
		石川合流点手前	14.5		
H21	大阪府環境農林水産総合研究所	千早川及び石川	7.8 （上流部観測点、動態観測点）	26.2	水田農薬河川モニタリング調査
H20	埼玉県環境科学国際センター	和田吉野川	3.2（動態観測点）	-	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>吉見橋</u>	2.1		
	大阪府環境農林水産総合研究所	千早川及び石川	5.0（動態観測点）	17.3	水田農薬河川モニタリング調査
		石川合流地点（地点G）	2.9		
H19	埼玉県環境科学国際センター	元荒川	13（動態観測点）	-	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>渋井橋</u>	4.5		
	大阪府環境農林水産総合研究所	千早川及び石川	7.33 （動態観測点）	41	水田農薬河川モニタリング調査
		石川合流地点（地点G）	1.77		
	兵庫県立健康環境科学研究所	杉原川	8.7	-	水田農薬河川モニタリング調査
		春日橋	8.7 （動態観測点）		
	高知県環境研究センター	仁淀川及び波介川	1.419 （動態観測点）	29.5	水田農薬河川モニタリング調査 汽水域等におけるモニタリング調査
		<u>八田堰</u>	0.148		
H18	青森県農林総合研究センター	浅瀬石川	6.5 （動態観測点）	0.8	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>朝日橋</u>	1.0		
	埼玉県環境科学国際センター	中川	14.7	-	長期河川モニタリング調査
		<u>道橋</u>	14.7		
	埼玉県農林総合研究センター	大谷川及び越辺川	0.3（動態観測点）	0.8	水田農薬河川モニタリング調査
		<u>落合橋</u>	<0.2		
	大阪府食とみどりの総合技術センター	千早川及び石川	0.91 （環境基準点）	-	水田農薬河川モニタリング調査
		石川合流地点（地点F）	0.91		
	兵庫県立健康環境科学研究所	杉原川	6.8	0.4	水田農薬河川モニタリング調査
		春日橋	2.8		

H17	青森県農林総合 研究センター	岩木川及び平川	8.0 (動態観測点)	8.2	水田農薬河川 モニタリング調査
		幡龍橋	4.0		
	埼玉県農林総合 研究センター	飯盛川及び 越辺川	0.6 (動態観測点)	16.6	水田農薬河川 モニタリング調査
		<u>落合橋</u>	<0.2		
	埼玉県環境科学 国際センター	中川	3.6 (上流部観測点)	-	長期河川 モニタリング調査
		<u>道橋</u>	3.4		
H16	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川	5.15	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋	5.15		
H16	兵庫県立健康環境科 学研究センター	杉原川	4.6	-	水田農薬河川 モニタリング調査
		春日橋	4.6		
H15	北海道環境科学 研究センター	滝の川	6.01	-	生態影響野外調査

下線：環境基準点または補助点